



墓には「楠木正成」と告げた。恵秀は不思議に思い損津に人を遣わし、確かめたところ間違いなかったため、碑を建て申った。

石探訪 46

楠木正成墓

楠木正成は鎌倉幕府打倒に貢献し、建武の新政を行った後醍醐天皇に仕えた人物である。しかし離反した足利尊氏と損津の湊川（現在の兵庫県）で戦い敗れた。この墓は平泉寺白山神社境内に建つ。この墓の由来について、天文6年（1537）にまとめられたと伝える『靈応山平泉寺縁起』に、次のように記されている。「三宮拝殿の傍に楠正成の古墳有り、中頃当山北谷に一僧有り名を恵秀律師と曰く、即ち正成の甥なり」。当時平泉寺で正成の甥の恵秀が修業に励んでいた。以下要約すると、建武3年（1336）5月25日に奥院の拝殿に詣で、終夜念仏を唱えていると午前4時頃社壇の前に馬の蹄の音が聞こえた。怪しみながら見ると伯父の正成が突然馬に乗り現れ、恵秀に「天皇のために粉骨砕身戦ったが、武運つたなく敗れ損津湊川で晒しの目に遇っている」と告げた。恵秀は不思議に思い損津に人を遣わし、確かめたところ間違いなかったため、碑を建て申った。

成墓 寛文八戊申年 二月日」と刻まれている。『越前史略』巻之五 光通公の寛文2年（1662）3月に、「是月平泉寺楠公の墓の四周に石柵を造る」とある。これによると墓は以前よりあり、恐らく新たに柵を造成し、その6年後の寛文8年に墓も新たに建てたと想像される。最初にこの墓が建てられた時期は不明ながら、標柱には延元年間（1336〜40）建立と記す。少し後の資料になるが、貞享2年（1685）の「越前国絵図」に、楠正成石塔として奥院に到る道路脇に描かれている。昭和10年（1935）、白山神社境内で「大楠公六百年大祭」が催された。期間は5月19日から3日間、その趣意書には要約すると以下のように記されている。「非常日本の現状に際し世に隠れたる同公墓の前において、君臣の大義を明にし忠孝の大道に徹せしむ可く」。期間中行われた講演会には、平泉澄の指導教官であった黒坂勝美が招かれた。挨拶は元福井藩主松平慶永の3男慶民、当時宮内省式部長官が行った。今回で石探訪は最終となります。4月からは各地区の成り立ちや歴史遺産についてのコラムを始めます。

市史編集室 山田 雄造

出会い・ふれあい

渾身の力作！

奥 琉登 さん (10)
村岡小学校 4年生
=村岡町郡=

奥さんは、第39回県版画コンクールで最高賞の福井棟方賞を受賞しました。

受賞した感想を「現実味がなくて、夢のようだった」と答えてくれました。また、家族からは、「よくやった」と言われたそうです。

この版画を彫ろうとしたきっかけは、今年の夏に家族旅行で行ってきた大和ミュージアムです。



「あの時の大和」

玄関に入ってすぐに展示してある戦艦大和の1/10の模型が忘れられなくて戦艦大和を版画にしてみようと心に決めました。

版画制作で苦労した点は、艦橋の細かな部分を表現するのが大変だったそうで、家でお父さんが作った模型を参考にしたりして彫るときは何も見ないで一心に彫り上げました。

また、最初は作品の左側の柱と戦艦大和だけの作品でしたが、先生のアドバイスを受け、人が戦艦大和を見ている背景を付け足して彫ったので、戦艦大和のスケール感をうまく表現できました。

棟方賞を取ったことで、クラスのみんなから褒められ、「棟方の親方」と呼ばれている奥さん、手先が器用なことを生かした家具職人になってみたいと笑顔で話していました。



恐竜博物館行事案内

- 3月19日(日) 博物館セミナー 「恐竜の脳を科学する」
- 3月26日(日) 恐竜ふれあい教室 「親子で恐竜のたまごをつくろう！」
- 4月9日(日) 恐竜ふれあい教室 「親子で化石のレプリカをつくろう！」
- 4月16日(日) 博物館自然教室 「なぞの恐竜を研究しよう」

※詳しくは恐竜博物館のホームページをご覧ください

休館日 4月12日(水) ※春休み期間中は開館

〒 県立恐竜博物館 ☎88 - 0001

<http://www.dinosaur.pref.fukui.jp/>



行ってみよう 湯ったり勝山

2月の湯たりの日は、「篠笛演奏」でした。賑やかな音で、□ずさめる曲の披露で楽しく観賞できました。篠笛体験では、「音を出すのが難しい」「演奏できるのがすごい」と感想がありました。



3月19日(日)は「湯たりの日」
午前11時～ 「芳野亭笑翁さんによる落語」

〒・☎ 地域包括支援センター「やすらぎ」
(すこやか内) ☎87 - 0900

人口の動き

| | 1月末現在 | 自然動態 | | | 社会動態 | | | 2月末現在 | 月間増減 |
|-----|---------|------|-----|-----|------|-----|-----|---------|------|
| | | 出生 | 死亡 | 計 | 転入 | 転出 | 計 | | |
| 男 | 11,514人 | 9 | -21 | -12 | 12 | -14 | -2 | 11,500人 | -14人 |
| 女 | 12,592人 | 6 | -22 | -16 | 5 | -16 | -11 | 12,565人 | -27人 |
| 合計 | 24,106人 | 15 | -43 | -28 | 17 | -30 | -13 | 24,065人 | -41人 |
| 世帯数 | 8,012世帯 | | | | | | | 8,011世帯 | -1世帯 |

3月の納税

3月の納税はありません。

交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

| 件数内訳 | 平成29年2月末 | 前年比 |
|-----------------|-----------|-------------|
| 総件数 | 95件 | +15件 |
| 人身事故 (うち高齢者) | 3件 (2) | -1件 (+2) |
| 死者 (うち高齢者) | 0人 (0) | 0人 (0) |
| 傷者 | 4人 | 0人 |
| 物損事故 | 92件 | +16件 |